# 6 地域別の事業所数と従業者数

# (1) 事業所数と従業者数の構成

### 一 京都市域が事業所数と従業者数の6割以上を占める —

地域別に事業所数の構成比をみると、京都市域が 7 万 8333 事業所で、府全体の 60.9 %を占め、 次いで山城中部地域が 1 万 5487 事業所で 12.0 %、中丹地域が 1 万 807 事業所で 8.4 %となって います。

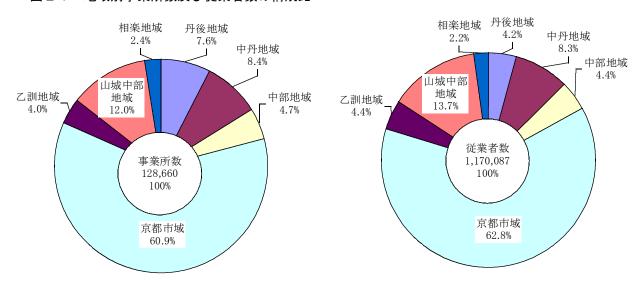
従業者数は、京都市域が73万4400人で、府全体の62.8%を占め、次いで山城中部地域が16万82人で13.7%、中丹地域が9万7122人で8.3%となっています。

(表 2 6、図 2 1)

表 2 6 地域別事業所数及び従業者数

(単位:事業所、人、%) 事業所数 従 業 者 数 地域別 構成比 平成18年 構成比 平成13年 増減数 増減率 平成18年 平成13年 増減数 増減率 京都府計 128,660 100.0 142,117 △ 13,457 △ 9.5 1,170,087 100.0 1,201,540 △ 31,453  $\triangle$  2.6 丹後地域 9,722 4.2 7.6  $11,137 \triangle 1,415 \triangle 12.7$ 49,425  $54,601 \triangle 5,176$  $\triangle$  9.5 中丹地域 10,807  $12,101 \triangle 1,294 \triangle 10.7$ 97,122  $102,782 \triangle 5,660$  $\triangle$  5.5 8.4 8.3 中部地域 6,064 6,389  $\triangle$  325  $\triangle$  5.1 51,260 294 51,554 4.4 0.6 4.7 京都市域 78,333 60.9  $87,283 \triangle 8,950 \triangle 10.3$ 62.8 734,400  $754,316 \triangle 19,916 \triangle 2.6$ 乙訓地域 5,288 5,119  $\triangle$  169  $\triangle$  3.2 51,238  $53,156 \triangle 1,918$  $\triangle$  3.6 4.0 4.4 山城中部地域 15,487 12.0  $16,754 \triangle 1,267$  $\triangle$  7.6 160,082 160,767  $\triangle$  0.4 13.7  $\triangle$  685 相楽地域 2.2 3,128 2.4 3,165  $\triangle$  37  $\triangle 1.2$ 26,266 24,658 1,608 6.5

図21 地域別事業所数及び従業者数の構成比



# (2) 事業所数と従業者数の増減

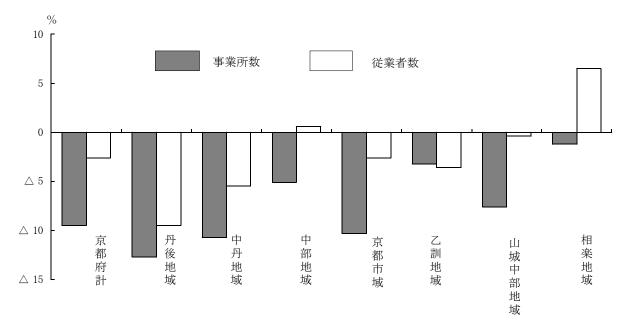
#### ─ 府内全域で事業所数は減少、従業者数は2地域以外で減少 ─

地域別に事業所数を前回と比較すると、府内の全地域で減少しており、1000 事業所以上の減少地域をみると、京都市域で 8950 事業所 ( $\triangle$  10.3 %)、丹後地域で 1415 事業所 ( $\triangle$  12.7 %)、中丹地域で 1294 事業所 ( $\triangle$  10.7 %)、山城中部地域で 1267 事業所 ( $\triangle$  7.6 %) 減少しています。

従業者数を前回と比較すると、相楽地域で 1608 人 (6.5% 9)、中部地域で 294 人 (0.6% 9) 増加していますが、その他の地域では減少しており、京都市域で 1 万 9916 人  $(\triangle 2.6\%)$ 、中丹地域で 5660 人  $(\triangle 5.5\%)$ 、丹後地域で 5176 人  $(\triangle 9.5\%)$  の減少となっています。

(表26、図22)

#### 図22 地域別事業所数及び従業者数の対前回増加率



# (3) 産業大分類別の状況

#### ◇ 産業大分類別の構成

# ── すべての地域で、「製造業」、「卸売・小売業」が多い ──

事業所数を地域別にみると、各地域における産業全体に対する割合で「製造業」が最も高い地域は丹後地域の36.4%で、他の地域は「卸売・小売業」の割合が最も高くなっています。

従業者数を地域別にみると、各地域における産業全体に対する割合で、「製造業」が最も高い地域は乙訓地域の29.0%、丹後地域の25.9%、山城中部地域の24.7%、中部地域の21.5%、「卸売・小売業」が最も高い地域は、京都市地域の23.6%、相楽地域の21.9%、中丹地域の19.9%となっています。

#### <丹後地域>

### ──「製造業」の事業所数構成比が府全体を23.0ポイント上回る ──

事業所数を産業別にみると、織物業などの「製造業」が 3540 事業所で 36.4 %、次いで「卸売・小売業」が 1982 事業所で 20.4 %、「サービス業 (他に分類されないもの)」が 1272 事業所で 13.1 %を占めています。

府全体の構成比と比較すると、「製造業」が府全体より 23.0 ポイント、「建設業」が 1.6 ポイントそれぞれ上回っているのに対し、「卸売・小売業」は 6.7 ポイント、「飲食店、宿泊業」が 5.0 ポイント、「不動産業」は 4.9 ポイントそれぞれ低くなっています。

従業者数を産業別にみると、「製造業」が 1 万 2806 人で 25.9 %、「卸売・小売業」が 9224 人で 18.7 %、「サービス業 (他に分類されないもの)」が 4934 人で 10.0 %となっています。

府全体の構成比と比較すると、「製造業」が 8.2 ポイント、「建設業」4.3 ポイントそれぞれ上回っているのに対し、「サービス業 (他に分類されないもの)」は 3.7 ポイント、「卸売・小売業」は 3.4 ポイントそれぞれ低くなっています。

#### <中丹地域>

### --- 「卸売・小売業」の事業所数が全体の28.7%、従業者数が19.9%を占める ---

事業所数を産業別にみると、「卸売・小売業」が 3097 事業所で 28.7 %、次いで「サービス業 (他に分類されないもの)」が 2116 事業所で 19.6 %、「飲食店、宿泊業」が 1544 事業所で 14.3 %を占めています。

府全体の構成比と比較すると、「建設業」が府全体より 3.8 ポイント、「サービス業(他に分類されないもの)」が 2.3 ポイントそれぞれ上回っているのに対して、「製造業」が 5.9 ポイント、「不動産業」が 3.2 ポイントそれぞれ低くなっています。

従業者数を産業別にみると、「卸売・小売業」が 1 万 9285 人で 19.9 %、次いで「製造業」が 1 万 7752 人で 18.3 %、「サービス業 (他に分類されないもの)」が 1 万 2305 人で 12.7 %を占めています。

府全体の構成比と比較すると、「公務」が 4.4 ポイント、「建設業」が 2.8 ポイントそれぞれ上回っているのに対して、「飲食店、宿泊業」は 2.8 ポイント、「卸売・小売業」が 2.2 ポイントそれぞれ低くなっています。

#### <中部地域>

#### ─ 「建設業」の事業所数の構成比14.3%と府内で最も高い ─

事業所数を産業別にみると、「卸売・小売業」が 1589 事業所で 26.2 %、次いで「サービス業 (他に分類されないもの)」が 1136 事業所で 18.7 %、「建設業」が 866 事業所で 14.3 %を占めています。

府全体の構成比と比較すると、「建設業」が府全体より 6.8 ポイント、「サービス業(他に分類されないもの)」が 1.4 ポイント上回っているのに対し、「飲食店,宿泊業」が 5.5 ポイント、「製造業」が 2.3 ポイントそれぞれ低くなっています。

従業者数を産業別にみると、「製造業」が 1 万 1077 人で 21.5 %、次いで「卸売・小売業」が 9971 人で 19.3 %、「医療、福祉」が 6674 人で 12.9 %を占めています。

府全体の構成比と比較すると、「製造業」が府全体より 3.8 ポイント、「建設業」が 2.5 ポイント、「医療、福祉」が 2.4 ポイントそれぞれ上回っているのに対して、「飲食店、宿泊業」が 2.9 ポイント、「卸売・小売業」が 2.8 ポイントそれぞれ低くなっています。

#### <京都市域>

#### ─ 「卸売・小売業」の従業者数の構成比が23.6%と府内で最も高い ─

事業所数を産業別にみると、「卸売・小売業」が2万 2425 事業所で28.6 %、次いで「サービス業(他に分類されないもの)」が1万 3403 事業所で17.1 %、「飲食店、宿泊業」が1万 2769 事業所で16.3 %を占めています。

府全体の構成比と比較すると、「飲食店、宿泊業」が府全体より 2.2 ポイント、「卸売・小売業」 が 1.5 ポイント上回っているのに対して、「建設業」が 1.9 ポイント、「製造業」が 1.4 ポイント 低くなっています。

従業者数を産業別にみると、「卸売・小売業」が17万3095人で23.6%、次いで「製造業」が10万8329人で14.8%、「サービス業(他に分類されないもの)」が10万7976人で14.7%を占めています。

府全体の構成比と比較すると、「卸売・小売業」、「飲食店,宿泊業」で 1.5 ポイント上回っているのに対して、「製造業」で 2.9 ポイント低くなっています。

#### <乙訓地域>

### ── 「製造業」の従業者数の構成比が29.0%を占め、府全体を11.3ポイント上回る ──

事業所数を産業別にみると、「卸売・小売業」が 1194 事業所で 23.3 %、次いで「サービス業 (他に分類されないもの)」が 1012 事業所で 19.8 %を占めています。

府全体の構成比と比較すると、「不動産業」で 4.0 ポイント、「サービス業 (他に分類されないもの)」、「医療、福祉」で 2.5 ポイントそれぞれ上回っているのに対して、「製造業」で 6.2 ポイント、「卸売・小売業」で 3.8 ポイントそれぞれ低くなっています。

従業者数を産業別にみると、「製造業」が 1 万 4858 人で 29.0 %、次いで「卸売・小売業」が 9095 人で 17.8 %を占めています。

府全体の構成比と比較すると、「製造業」が 11.3 ポイント上回っているのに対して、「卸売・ 小売業」が 4.3 ポイント、「飲食店、宿泊業」が 3.3 ポイントそれぞれ低くなっています。

#### <山城中部地域>

### ──「製造業」の従業者数の構成比が24.7%を占め、府全体を7.0ポイント上回る ──

事業所数を産業別にみると、「卸売・小売業」が 3799 事業所で 24.5 %、次いで「サービス業 (他に分類されないもの)」が 2650 事業所で 17.1 %、「製造業」が 2238 事業所で 14.5 %を占めています。

府全体の構成比と比較すると、「建設業」で 2.0 ポイント、「教育, 学習支援業」で 1.8 ポイント上回っているのに対し、「飲食店, 宿泊業」で 3.9 ポイント低くなっています。、

従業者数を産業別にみると、「製造業」が3万9580人で24.7%、次いで「卸売・小売業」が3万2160人で20.1%、「サービス業(他に分類されないもの)」が1万8209人で11.4%を占めています。

府全体の構成比と比較すると、「製造業」で 7.0 ポイント、「運輸業」で 2.0 ポイント上回っているのに対して、「飲食店、宿泊業」で 3.2 ポイント、「サービス業 (他に分類されないもの)」で 2.3 ポイントそれぞれ下回っています。

#### <相楽地域>

― 「サービス業 (他に分類されないもの)」の構成比が、

### 事業所数、従業者数ともに府内で最も高い ---

事業所数を産業別にみると、「卸売・小売業」が 811 事業所で 25.9 %、次いで「サービス業 (他に分類されないもの)」が 620 事業所で 19.8 %を占めています。

府全体の構成比と比較すると、「建設業」が 5.2 ポイント、「教育, 学習支援業」で 3.1 ポイント上回っているのに対して、「飲食店, 宿泊業」で 5.9 ポイント、「製造業」で 4.5 ポイント低くなっています。

従業者数を産業別にみると、「卸売・小売業」が 5744 人で 21.9 %、次いで「サービス業(他に分類されないもの)」が 4798 人で 18.3 %、「医療、福祉」が 3243 人で 12.3 %を占めています。

府全体の構成比と比較すると、「サービス業(他に分類されないもの)」で 4.6 ポイント、「建設業」で 3.4 ポイントそれぞれ上回っているのに対して、「製造業」で 7.9 ポイント、「飲食店、宿泊業」で 2.7 ポイントそれぞれ低くなっています。

 $(表 27-1\sim 2)$  図 23-1~2)

#### ◇ 産業大分類別の増減

#### <丹後地域>

### ──織物業などの「製造業」で事業所数、従業者数ともに減少 ──

事業所数は 9722 事業所で前回に比べ 1415 事業所 ( $\triangle$  12.7%) 減少しており、「製造業」が 896 事業所 ( $\triangle$  20.2%)、「卸売・小売業」が 293 事業所 ( $\triangle$  12.9%) 減少しています。

従業者数は 4 万 9425 人で前回に比べ、5176 人( $\triangle$  9.5 %)減少しており、中でも「製造業」が 2593 人( $\triangle$  16.8 %)、次いで「複合サービス事業」が 833 人( $\triangle$  43.2 %)減少し、一方、「医療,福祉」で 875 人(22.2 %増)増加しています。

#### <中丹地域>

# ─ 「卸売・小売業」などで事業所数、従業者数ともに減少 ─

事業所数は 1 万 807 事業所で前回に比べ 1294 事業所 ( $\triangle$  10.7 %) 減少しており、「卸売・小売業」が 570 事業所 ( $\triangle$  15.5 %)、「飲食店,宿泊業」が 230 事業所 ( $\triangle$  13.0 %) 減少しています。

従業者数は 9 万 7122 人で前回に比べ 5660 人 ( $\triangle$  5.5 %)減少しており、中でも「製造業」が 2317 人 ( $\triangle$  11.5 %)、次いで「卸売・小売業」が 2033 人 ( $\triangle$  9.5 %)減少し、一方「医療,福祉」で 1990 人 (22.1 %増) 増加しています。

#### <中部地域>

──「卸売・小売業」「建設業」などで事業所数、従業者数ともに減少、

#### 「医療、福祉」などで事業所数、従業者数ともに増加 —

事業所数は 6064 事業所で前回に比べ 325 事業所 ( $\triangle$  5.1 %) 減少しており、中でも「卸売・小売業」が 177 事業所 ( $\triangle$  10.0 %)、次いで「建設業」が 129 事業所 ( $\triangle$  13.0 %) 減少しています。

従業者数は5万1554人で前回に比べ294人(0.6%増)増加していますが、「建設業」で1041人( $\triangle$ 20.8%)、次いで「卸売・小売業」で743人( $\triangle$ 6.9%)減少し、一方、「医療、福祉」で1698人(34.1%増)増加しています。

#### <京都市域>

──「卸売・小売業」、「製造業」などで事業所数、従業者数ともに減少、

# 「医療、福祉」などで事業所数、従業者数ともに増加 —

従業者数は 73 万 4400 人で前回に比べ 1万 9916 人 ( $\triangle$  2.6 %) 減少しており、中でも「卸売・小売業」で 1万 7780 人 ( $\triangle$  9.3 %)、次いで「製造業」で 1万 3989 人 ( $\triangle$  11.4 %) 減少し、一方、「医療、福祉」で 1万 1515 人 (18.8 %増)、「サービス業 (他に分類されないもの)」で 1万 1349 人 (11.7 %増) 増加しています。

#### <乙訓地域>

#### -- 事業所数、従業者数とも「製造業」などで減少、

### 「医療、福祉」などでは事業所数、従業者数ともに増加 —

事業所数は 5119 事業所で前回に比べ 169 事業所 ( $\triangle$  3.2 %) 減少しており、中でも「卸売・小売業」で 195 事業所 ( $\triangle$  14.0 %)、次いで「飲食店、宿泊業」で 40 事業所 ( $\triangle$  6.1 %)、「建設業」で 28 事業所 ( $\triangle$  5.9 %)、減少しています。

従業者数は5 万 1238 人で前回に比べ1918 人( $\triangle$  3.6 %)減少しており、中でも「製造業」で1822 人( $\triangle$  10.9 %)、次いで「サービス業(他に分類されないもの)」で553 人( $\triangle$  9.3 %)減少し、一方、「医療、福祉」で1502 人(29.9 %増)増加しています。

#### <山城中部地域>

― 事業所数、従業者数とも「卸売・小売業」、「建設業」などで減少、

### 「医療、福祉」などでは事業所数、従業者数ともに増加 —

事業所数は 1 万 5487 事業所で前回に比べ、1267 事業所( $\triangle$  7.6 %)減少しており、中でも「卸売・小売業」で 580 事業所( $\triangle$  13.2 %)、次いで「建設業」で 239 事業所( $\triangle$  14.0 %)減少しています。

従業者数は 16 万 82 人で前回に比べ 685 人 ( $\triangle$  0.4 %) 減少しており、中でも「卸売・小売業」で 2201 人 ( $\triangle$  6.4 %)、次いで「建設業」で 2018 人 ( $\triangle$  18.4 %) 減少し、一方、「医療、福祉」で 2574 人 (16.9 %増) 増加しています。

#### <相楽地域>

-- 事業所数、従業者数とも「製造業」などで減少、

#### 「医療、福祉」などでは事業所数、従業者数ともに増加 —

事業所数は 3128 事業所で前回に比べ 37 事業所 ( $\triangle$  1.2%) 減少しており、中でも「製造業」で 156 事業所 ( $\triangle$  35.9%)、次いで「卸売・小売業」で 67 事業所 ( $\triangle$  7.6%) 減少し、一方、「サービス業 (他に分類されないもの)」で 80 事業所 (14.8%増)、「飲食店、宿泊業」で 61 事業所 (31.1%増)、「医療、福祉」で 49 事業所 (26.5%増)増加しています。

従業者数は 2 万 6266 人で前回に比べ 1608 人(6.5 %増)増加していますが、「製造業」で 596 人( $\triangle$  18.9 %)、次いで「建設業」で 451 人( $\triangle$  16.7 %)減少し、一方、「医療、福祉」で 954 人(41.7 %増)、「サービス業(他に分類されないもの)」で 685 人(16.7 %増)増加しています。

 $(表 27-1 \sim 2)$ 

表 2 7 - 1 地域別、産業 (大分類) 別事業所数と構成比

地 域		総数	農林漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス ・熱供給・ 水道業	情報 通信業	運輸業	卸売・ 小売業
	18年	128,660	179	42	9,662	17,295	144	902	2,160	34,897
	構成比	100.0	0.1	0.0	7.5	13.4	0.1	0.7	1.7	27.1
京都府計	13年	142,117	161	46	10,990	20,942	179	921	2,405	40,375
	増減数	△ 13,457	18	△ 4	△ 1,328	△ 3,647	△ 35	△ 19	△ 245	△ 5,478
	増減率	△ 9.5	11.2	△ 8.7	Δ 12.1	△ 17.4	Δ 19.6	Δ 2.1	Δ 10.2	Δ 13.6
	18年	9,722	23	8	883	3,540	15	19	92	1,982
414대 VV 전	構成比	100.0	0.2	0.1	9.1	36.4	0.2	0.2	0.9	20.4
丹後地域	13年	11,137	19	7	984	4,436	25	25	. 99	2,275
	増減数	△ 1,415	4	1	△ 101	△ 896	△ 10	△ 6	$\triangle$ 7	△ 293
	増減率	△ 12.7	21.1	14.3	△ 10.3	△ 20.2	△ 40.0	△ 24.0	△ 7.1	△ 12.9
	18年	10,807	39	8	1,216	815	22	54	163	3,097
스 디 내 나	構成比	100.0	0.4	0.1	11.3	7.5	0.2	0.5	1.5	28.7
中丹地域	13年	12,101	45	9	1,392	986	27	58	161	3,667
	増減数	△ 1,294	$\triangle$ 6	$\triangle 1$	△ 176	$\triangle$ 171	$\triangle$ 5	$\triangle$ 4	2	△ 570
	増減率	△ 10.7	△ 13.3	△ 11.1	△ 12.6	△ 17.3	△ 18.5	△ 6.9	1.2	△ 15.5
	18年	6,064	37	3	866	674	11	19	74	1,589
	構成比	100.0	0.6	0.0	14.3	11.1	0.2	0.3	1.2	26.2
中部地域	13年	6,389	32	3	995	744	18	22	68	1,766
	増減数	$\triangle 325$	5	_	△ 129	△ 70	$\triangle$ 7	△ 3	6	△ 177
	増減率	△ 5.1	15.6		△ 13.0	△ 9.4	△ 38.9	△ 13.6	8.8	△ 10.0
	18年	78,333	50	6	4,383	9,383	50	683	1,355	22,425
	構成比	100.0	0.1	0.0	5.6	12.0	0.1	0.9	1.7	28.6
京都市域	13年	87,283	39	8	4,997	11,520	54	687	1,649	26,021
	増減数	△ 8,950	11	△ 2	$\triangle$ 614	$\triangle$ 2,137	$\triangle 4$	$\triangle$ 4	△ 294	△ 3,596
	増減率	△ 10.3	28.2	△ 25.0	△ 12.3	△ 18.6	△ 7.4	△ 0.6	△ 17.8	△ 13.8
	18年	5,119	1	_	446	367	9	28	88	1,194
→ =hi lik±+	構成比	100.0	0.0	_	8.7	7.2	0.2	0.5	1.7	23.3
乙訓地域	13年	5,288	2	_	474	382	11	27	86	1,389
	増減数	△ 169	△ 1	_	△ 28	△ 15	△ 2	_	2	△ 195
	増減率	△ 3.2	△ 50.0		△ 5.9	△ 3.9	△ 18.2		2.3	△ 14.0
	18年	15,487	20	14	1,472	2,238	23	69	358	3,799
山城中部	構成比	100.0	0.1	0.1	9.5	14.5	0.1	0.4	2.3	24.5
地域	13年	16,754	18	16	1,711	2,440	28	87	310	4,379
	増減数	$\triangle$ 1,267	2	$\triangle$ 2	△ 239	$\triangle$ 202	$\triangle$ 5	△ 18	48	△ 580
	増減率	△ 7.6	11.1	△ 12.5	△ 14.0	△ 8.3	△ 17.9	△ 20.7	15.5	△ 13.2
	18年	3,128	9	3	396	278	14	30	30	811
TH 245 111 1-12	構成比	100.0	0.3	0.1	12.7	8.9	0.4	1.0	1.0	25.9
相楽地域	13年	3,165	6	3	437	434	16	15	32	878
	増減数	$\triangle$ 37	3	_	△ 41	△ 156	$\triangle$ 2	15	$\triangle$ 2	$\triangle$ 67
	増減率	△ 1.2	50.0	_	△ 9.4	△ 35.9	$\triangle$ 12.5	100.0	$\triangle$ 6.3	△ 7.6

								(単位:事業	所、%)
地域	別	金融•	不動産業	飲食店,	医療,	教育,学	複合サー	サービス業(他に分類さ	公務
70 750	70.3	保険業	一到注木	宿泊業	福祉	習支援業	ビス事業	れないもの)	<i>Δ</i> 4 <i>π</i>
	18年	1,466	7,714	18,170	7,300	4,966	867	22,209	687
	構成比	1.1	6.0	14.1	5.7	3.9	0.7	17.3	0.5
京都府計	13年	1,729	8,423	20,002	6,549	4,995	1,036	22,662	702
	増減数	△ 263	△ 709	△ 1,832	751	△ 29	△ 169	△ 453	△ 15
	増減率	△ 15.2	△ 8.4	△ 9.2	11.5	△ 0.6	△ 16.3	△ 2.0	△ 2.1
	18年	76	105	884	310	316	90	1,272	107
	構成比	0.8	1.1	9.1	3.2	3.3	0.9	13.1	1.1
丹後地域	13年	99	103	992	292	308	120	1,236	117
	増減数	$\triangle$ 23	2	△ 108	18	8	$\triangle$ 30	36	$\triangle$ 10
	増減率	$\triangle$ 23.2	1.9	△ 10.9	6.2	2.6	$\triangle$ 25.0	2.9	$\triangle$ 8.5
	18年	176	307	1,544	589	437	122	2,116	102
	構成比	1.6	2.8	14.3	5.5	4.0	1.1	19.6	0.9
中丹地域	13年	215	344	1,774	526	437	186	2,163	111
	増減数	$\triangle$ 39	$\triangle$ 37	$\triangle$ 230	63	_	$\triangle$ 64	$\triangle$ 47	$\triangle$ 9
	増減率	△ 18.1	△ 10.8	△ 13.0	12.0	_	$\triangle$ 34.4	$\triangle$ 2.2	△ 8.1
	18年	50	303	524	352	277	71	1,136	78
	構成比	0.8	5.0	8.6	5.8	4.6	1.2	18.7	1.3
中部地域	13年	60	285	574	302	274	73	1,091	82
	増減数	$\triangle$ 10	18	$\triangle$ 50	50		$\triangle 2$	45	$\triangle$ 4
	増減率	△ 16.7	6.3	△ 8.7	16.6		$\triangle 2.7$	4.1	$\triangle$ 4.9
	18年	930	5,343	12,769	4,364		435	13,403	235
	構成比	1.2	6.8	16.3	5.6		0.6	17.1	0.3
京都市域	13年	1,084	6,052	14,038	3,990		491	13,895	228
	増減数	$\triangle 154$	$\triangle 709$	$\triangle$ 1,269	374		$\triangle$ 56	$\triangle 492$	7
	増減率	△ 14.2	△ 11.7	△ 9.0	9.4		△ 11.4	$\triangle 3.5$	3.1
	18年	53	511	620	420	319	27	1,012	24
→ =u.u. I.N	構成比	1.0	10.0	12.1	8.2	6.2	0.5	19.8	0.5
乙訓地域	13年	57	509	660	344	310	27	985	25
	増減数	$\triangle$ 4	2	$\triangle$ 40	76	9	_	27	$\triangle 1$
	増減率	△ 7.0	0.4		22.1	2.9		2.7	$\triangle 4.0$
	18年	147	1,036	1,572	1,031	879	87	2,650	92
山城中部	構成比	0.9	6.7	10.2	6.7	5.7	0.6	17.1	0.6
地域	13年	178	1,020	1,768	910	954	96	2,752	87
- 2.	増減数	$\triangle$ 31	16	△ 196	121	$\triangle$ 75	△ 9	$\triangle$ 102	5
	増減率	△ 17.4	1.6	△ 11.1	13.3	△ 7.9	$\triangle$ 9.4	△ 3.7	5.7
	18年	34	109	257	234	219	35	620	49
Imahara 18	構成比	1.1	3.5	8.2	7.5	7.0	1.1	19.8	1.6
相楽地域	13年	36	110	196	185	182	43	540	52
	増減数	$\triangle 2$	$\triangle 1$	61	49	37	△ 8	80	$\triangle$ 3
	増減率	$\triangle$ 5.6	△ 0.9	31.1	26.5	20.3	△ 18.6	14.8	$\triangle$ 5.8

表27-2 地域別、産業(大分類)別従業者数と構成比

地域	別	総数	農林漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス ・熱供給・ 水道業	情報 通信業	運輸業	卸売・ 小売業
	18年	1,170,087	2,237	497	60,520	206,964	5,076	16,808	49,732	258,574
	構成比	100.0	0.2	0.0	5.2	17.7	0.4	1.4	4.3	22.1
京都府計	13年	1,201,540	2,177	566	71,134	229,425	6,055	16,539	50,286	282,028
	増減数	△ 31,453	60	△ 69	△ 10,614	△ 22,461	△ 979	269	△ 554	△ 23,454
	増減率	△ 2.6	2.8	△ 12.2	△ 14.9	△ 9.8	Δ 16.2	1.6	Δ 1.1	△ 8.3
	18年	49,425	310	109	4,717	12,806	136	72	949	9,224
	構成比	100.0	0.6	0.2	9.5	25.9	0.3	0.1	1.9	18.7
丹後地域	13年	54,601	267	94	5,439	15,399	327	94	1,245	10,040
	増減数	$\triangle$ 5,176	43	15	$\triangle$ 722	$\triangle$ 2,593	$\triangle$ 191	$\triangle$ 22	$\triangle$ 296	△ 816
_	増減率	△ 9.5	16.1	16.0	△ 13.3	△ 16.8	△ 58.4	△ 23.4	△ 23.8	△ 8.1
	18年	97,122	444	92	7,806	17,752	662	650	3,719	19,285
	構成比	100.0	0.5	0.1	8.0	18.3	0.7	0.7	3.8	19.9
中丹地域	13年	102,782	465	120	9,796	20,069	676	776	3,607	21,318
	増減数	△ 5,660	$\triangle$ 21	$\triangle$ 28	$\triangle$ 1,990	$\triangle$ 2,317	$\triangle$ 14	$\triangle$ 126	112	△ 2,033
	増減率	$\triangle$ 5.5	$\triangle 4.5$	$\triangle$ 23.3	$\triangle$ 20.3	$\triangle$ 11.5	$\triangle$ 2.1	$\triangle$ 16.2	3.1	△ 9.5
	18年	51,554	428	65	3,968	11,077	165	82	1,348	9,971
	構成比	100.0	0.8	0.1	7.7	21.5	0.3	0.2	2.6	19.3
中部地域	13年	51,260	396	57	5,009	11,214	252	127	1,204	10,714
	増減数	294	32	8	$\triangle$ 1,041	$\triangle$ 137	△ 87	$\triangle$ 45	144	$\triangle$ 743
	増減率	0.6	8.1	14.0	△ 20.8	△ 1.2	△ 34.5	△ 35.4	12.0	△ 6.9
	18年	734,400	531	49	30,556	108,329	3,420	14,477	31,092	173,095
	構成比	100.0	0.1	0.0	4.2	14.8	0.5	2.0	4.2	23.6
京都市域	13年	754,316	709	78	34,579	122,318	3,757	13,903	32,260	190,875
	増減数	$\triangle$ 19,916	$\triangle$ 178	$\triangle$ 29	$\triangle$ 4,023	△ 13,989	$\triangle$ 337	574	△ 1,168	$\triangle$ 17,780
	増減率	$\triangle 2.6$	$\triangle$ 25.1	$\triangle$ 37.2	$\triangle$ 11.6	△ 11.4	△ 9.0	4.1	$\triangle$ 3.6	△ 9.3
	18年	51,238	17	-	2,273	14,858	187	511	2,115	9,095
	構成比	100.0	0.0	-	4.4	29.0	0.4	1.0	4.1	17.8
乙訓地域	13年	53,156	30	-	2,642	16,680	328	550	2,310	9,445
	増減数	△ 1,918	$\triangle$ 13	-	△ 369	△ 1,822	$\triangle$ 141	$\triangle$ 39	$\triangle$ 195	△ 350
	増減率	△ 3.6	$\triangle$ 43.3	_	△ 14.0	△ 10.9	△ 43.0	$\triangle$ 7.1	△ 8.4	△ 3.7
	18年	160,082	431	137	8,950	39,580	401	800	10,025	32,160
	構成比	100.0	0.3	0.1	5.6	24.7	0.3	0.5	6.3	20.1
山城中部地域	13年	160,767	283	194	10,968	40,587	530	732	8,980	34,361
	増減数	△ 685	148	$\triangle$ 57	△ 2,018	△ 1,007	$\triangle$ 129	68	1,045	△ 2,201
	増減率	$\triangle 0.4$	52.3	$\triangle$ 29.4	△ 18.4	$\triangle$ 2.5	$\triangle$ 24.3	9.3	11.6	$\triangle$ 6.4
	18年	26,266	76	45	2,250	2,562	105	216	484	5,744
	構成比	100.0	0.3	0.2	8.6	9.8	0.4	0.8	1.8	21.9
相楽地域	13年	24,658	27	23	2,701	3,158	185	357	680	5,275
	増減数	1,608	49	22	$\triangle$ 451	$\triangle$ 596	△ 80	△ 141	$\triangle$ 196	469
	増減率	6.5	181.5	95.7	△ 16.7	△ 18.9	△ 43.2	△ 39.5	△ 28.8	8.9

								(単位	<u> </u>
地域	別	金融・ 保険業	不動産業	飲食店, 宿泊業	医療, 福祉	教育,学 習支援業	複合サー ビス事業	サービス業 (他に分類され ないもの)	公務
'	18年	23,041	22,433	112,941	122,722	76,271	12,023	159,721	40,527
	構成比	2.0	1.9	9.7	10.5	6.5	1.0	13.7	3.5
京都府計	13年	30,226	23,968	119,525	101,614	69,294	14,021	144,809	39,873
	増減数	△ 7,185	△ 1,535	△ 6,584	21,108	6,977	△ 1,998	14,912	654
	増減率	△ 23.8	△ 6.4	△ 5.5	20.8	10.1	△ 14.3	10.3	1.6
	18年	766	292	4,824	4,819	2,541	1,096	4,934	1,830
	構成比	1.5	0.6	9.8	9.8	5.1	2.2	10.0	3.7
丹後地域	13年	982	308	5,261	3,944	2,577	1,929	4,705	1,990
	増減数	$\triangle$ 216	$\triangle$ 16	$\triangle 437$	875	$\triangle 36$	$\triangle$ 833	229	$\triangle$ 160
	増減率	△ 22.0	$\triangle$ 5.2	△ 8.3	22.2	△ 1.4	△ 43.2	4.9	△ 8.0
	18年	1,630	852	6,702	10,990	5,083	1,451	12,305	7,699
H 17 14 14	構成比	1.7	0.9	6.9	11.3	5.2	1.5	12.7	7.9
中丹地域	13年	2,980	991	7,734	9,000	4,917	1,819	11,030	7,484
	増減数	$\triangle$ 1,350	△ 139	$\triangle$ 1,032	1,990	166	△ 368	1,275	215
	増減率	$\triangle$ 45.3	△ 14.0	△ 13.3	22.1	3.4	△ 20.2	11.6	2.9
	18年	661	586	3,515	6,674	3,786	1,371	6,092	1,765
	構成比	1.3	1.1	6.8	12.9	7.3	2.7	11.8	3.4
中部地域	13年	675	602	3,712	4,976	3,415	1,472	5,598	1,837
	増減数	△ 14	△ 16	△ 197	1,698	371	△ 101	494	$\triangle$ 72
	増減率	△ 2.1	△ 2.7	△ 5.3	34.1	10.9	△ 6.9	8.8	△ 3.9
	18年	17,452	16,599	82,314	72,698	49,709	5,467	107,976	20,636
÷+17 ++1+	構成比	2.4	2.3	11.2	9.9	6.8	0.7	14.7	2.8
京都市域	13年	22,464	17,784	86,760	61,183	44,925	5,929	96,627	20,165
	増減数	△ 5,012	△ 1,185		11,515	4,784	△ 462	11,349	471
	増減率	△ 22.3	<u>△ 6.7</u>	<u>△ 5.1</u>	18.8	10.6	<u>△ 7.8</u>	11.7	2.3
	18年	607	1,314	3,286	6,530	3,211	560	5,407	1,267
→	構成比	1.2	2.6	6.4	12.7	6.3	1.1	10.6	2.5
乙訓地域	13年	740	1,451	3,360	5,028	2,782	606	5,960	1,244
	増減数	△ 133	△ 137	$\triangle$ 74	1,502	429	$\triangle$ 46	△ 553	23
	増減率	△ 18.0	△ 9.4	△ 2.2	29.9	15.4	△ 7.6	△ 9.3	1.8
	18年	1,626	2,538	10,467	17,768	9,585	1,534	18,209	5,871
그나사 다 하기나나라	構成比	1.0	1.6	6.5	11.1	6.0	1.0	11.4	3.7
山城中部地域	13年	2,054	2,517	11,136	15,194	8,776	1,763	16,776	5,916
	増減数	△ 428	21	△ 669	2,574	809	△ 229	1,433	$\triangle$ 45
	増減率	△ 20.8	0.8	△ 6.0	16.9	9.2	△ 13.0	8.5	△ 0.8
	18年	299	252	1,833	3,243	2,356	544	4,798	1,459
相准制件	構成比	1.1	1.0	7.0	12.3	9.0	2.1	18.3	5.6
相楽地域	13年	331	315	1,562	2,289	1,902	503	4,113	1,237
	増減数	$\triangle$ 32	△ 63	271	954	454	41	685	222
	増減率	△ 9.7	△ 20.0	17.3	41.7	23.9	8.2	16.7	17.9

図23-1 地域別、産業 (大分類) 別事業所数の構成比

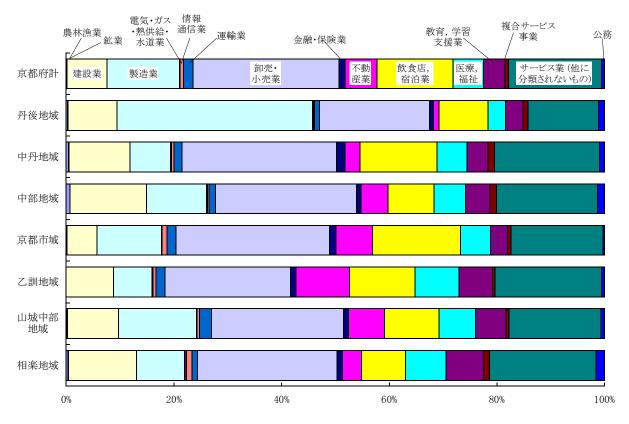
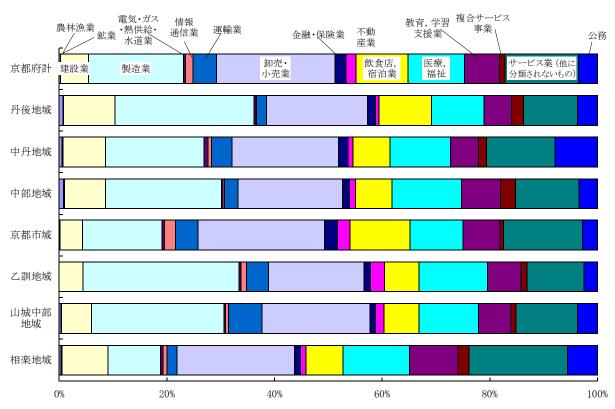


図23-2 地域別、産業(大分類)別従業者数の構成比



### (4) 経営組織別の状況

# ─ 事業所数は丹後地域で「個人経営」が多く、

### 従業者数は山城中部地域、乙訓地域で「会社経営」が多い ---

経営組織別に全産業の事業所数の構成比をみると、各地域とも「個人経営」の占める割合が最も高く、丹後地域では 71.1 %を占め、乙訓地域が 54.5 %、中部地域が 53.3 %で府全体の構成比53.0 %を上回っています。

また、「法人経営」のうち「会社経営」の占める割合は、山城中部地域が 39.4 %、京都市域が 39.1 %で、府全体構成比の 36.5 %を上回っています。 (表 2 8 - 1、図 2 4 - 1)

(単位:事業所、%)

505

3.3

195

58

0.4

17

表28-1 地域別、経営組織別事業所数

実数

構成比

実数

山城中部地域

相楽地域

15,487

100.0

3,128

14,982

96.7

2,933

地域別 総数 国、地方 民営 個人経営 法人 公共団体 独立行政 その他の 株式会社 い団体 会社 その他の (有限会社 法人等 法人 会社 を含む) 実数 128,660 125,320 68,229 56,472 47,008 3,340 46,740 268 554 8,910 619 京都府計 構成比 100.0 53.0 36.3 97.4 43.9 36.5 0.2 0.4 0.5 2.6 6.9 実数 9,722 9,281 2,284 1,728 6,910 1,715 13 518 441 丹後地域 構成比 100.0 95.5 71.123.517.8 17.6 0.1 0.4 5.3 0.9 4.5実数 10,807 10,330 5,502 4,758 3,880 3,854 26 812 70 477 66 中丹地域 構成比 50.9 0.2 7.5 100.0 95.6 44.0 35.9 35.7 0.6 0.6 4.4 実数 6,064 5,742 3,234 2,449 1,848 1,835 13 41 560 59 322 中部地域 構成比 100.0 94.7 53.3 40.4 30.5 30.3 0.2 0.7 9.2 1.0 5.3 5,604 実数 78,333 77,108 40,294 36,518 30,431 170 1,225 30,601 313 296 京都市域 構成比 100.098.451.446.639.1 38.80.2 0.4 7.2 0.41.6 実数 5,119 4,944 2,790 2,122 1,842 1,831 11 18 262 175 乙訓地域 構成比 100.0 96.6 54.5 41.536.0 35.8 0.2 0.4 5.1 0.6 3.4

6.099

39.4

1,010

6.069

39.2

1,005

30

0.2

5

59

0.4

19

894

5.8

260

7.052

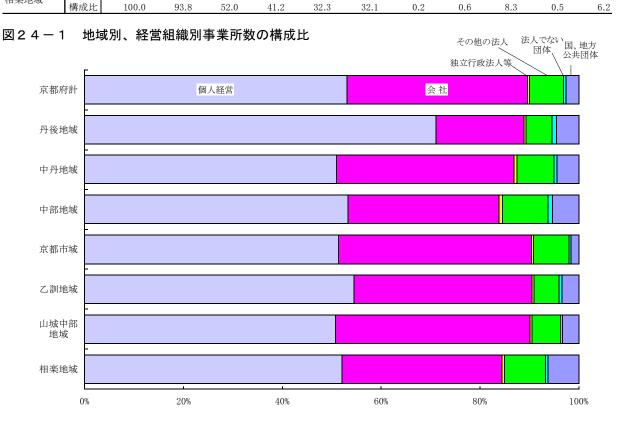
45.5

1,289

7.872

50.8

1,627



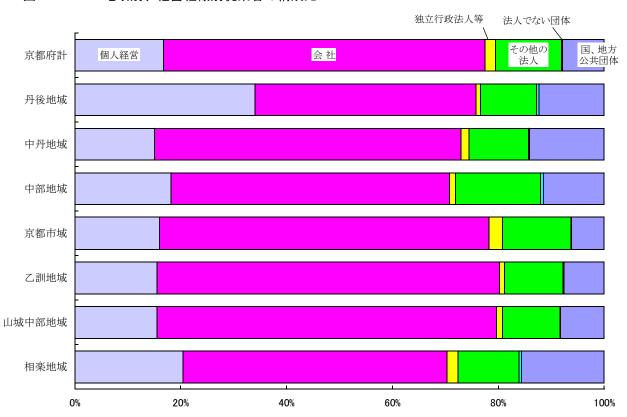
経営組織別に従業者数の構成比をみると、各地域とも「法人経営」のうち「会社経営」の占める割合が最も高く、乙訓地域が 64.7 %、山城中部地域が 64.1 %、京都市域が 62.2 %で府全体構成比の 60.6 %を上回っています。

また、「個人経営」の占める割合は、丹後地域が34.0%、相楽地域が20.4%、中部地域が18.2%で府全体構成比の16.8%を上回っています。 (表28-2、図24-2)

表28-2 地域別、経営組織別従業者

(単位:人、%) 地域別 総数 国、地方 民営 法人でな 個人経営 法人 公共団体 独立行政 その他の 株式会社 い団体 会社 その他の 法人等 法人 (有限会社 会社 を含む) 実数 1,170,087 1,077,816 196,463 879,186 709,295 704,983 4,312 24,877 145,014 2,167 92,271 京都府計 構成比 100.0 92.1 16.8 75.1 60.6 60.3 0.4 2.1 12.4 0.2 7.9 実数 49,425 43,366 16,788 26,341 20,672 20,523 149 406 5,263 237 6,059 丹後地域 構成比 100.0 87.7 53.3 0.8 12.3 34.0 41.8 0.3 10.6 0.5 41.5 実数 97,122 83,472 68,622 56,174 55,812 362 10,993 205 13,650 14,645 1,455 中丹地域 構成比 85.9 100.0 15.1 70.757.8 57.5 0.4 1.5 11.3 0.2 14.1 実数 51,554 45,651 9,370 35,979 27,141 26,885 256 597 8,241 302 5,903 中部地域 構成比 100.088.5 18.269.852.652.1 0.51.2 16.0 0.6 11.5 570,474 実数 689,074 117,591 2,935 19,449 94,595 1.009 45,326 734,400 456,430 453,495 京都市域 構成比 100.0 93.8 16.0 62.2 0.4 2.6 6.2 77.7 61.8 12.9 0.1 51,238 47,325 7,944 39,298 33,168 225 490 3,913 実数 32,943 83 乙訓地域 構成比 100.0 92.4 15.5 76.7 64.764.3 0.4 1.0 11.0 0.2 7.6 実数 160,082 146,768 24,756 121,814 102,621 102,318 303 1.931 17,262 198 13,314 山城中部地域 構成比 100.0 91.7 15.5 76.1 64.1 63.9 0.2 1.2 10.8 0.1 8.3 実数 26,266 22,160 5,369 16,658 13,089 13,007 82 549 3,020 133 4,106 相楽地域 構成比 100.0 84.4 20.4 63.449.8 49.5 0.3 2.1 11.5 0.5 15.6

図24-2 地域別、経営組織別従業者の構成比



# (5) 従業者規模別の状況

# --- 事業所数は、丹後地域で「1~4人」が78.5%を占め

# 従業者数は、乙訓地域で「300人以上」が22.1%を占める —

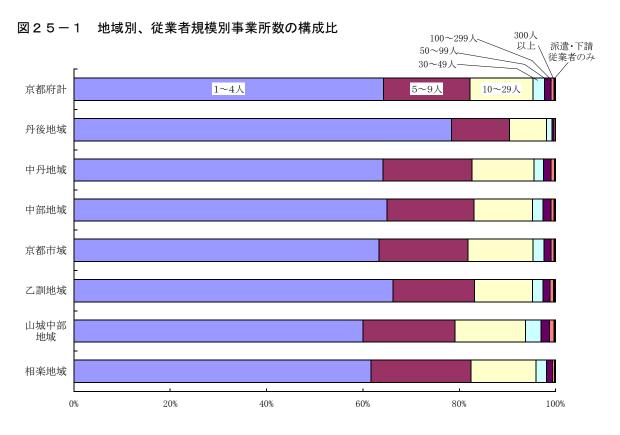
従業者規模別に事業所数の構成比をみると、各地とも「 $1\sim4$ 人」の事業所数の割合が最も高く、いずれも6割を上回っています。

特に丹後地域は 78.5 %を占め、府全体構成比の 64.3 %を 14.2 ポイントも上回っています。

(表 29-1、 図25-1)

表29-1 地域別、従業者規模別事業所数

表29-	表 2 9 1 地域別、従業者規模別事業所数 (民営 単位:事業所、%)												
従業者規	.模	事業所数計	1~4人	5~9人	10~29人	30~49人	50~99人	100~299 人	300人以 上	派遣・下 請従業者 のみ			
京都府計	実数	125,320	80,639	22,530	16,372	2,883	1,718	838	228	112			
不相のの ロ	構成比	100.0	64.3	18.0	13.1	2.3	1.4	0.7	0.2	0.1			
丹後地域	実数	9,281	7,282	1,114	712	101	47	22	2	1			
	構成比	100.0	78.5	12.0	7.7	1.1	0.5	0.2	0.0	0.0			
中丹地域	実数	10,330	6,630	1,909	1,330	206	165	65	16	9			
十月地域	構成比	100.0	64.2	18.5	12.9	2.0	1.6	0.6	0.2	0.1			
中部地域	実数	5,742	3,735	1,037	695	130	89	41	7	8			
一	構成比	100.0	65.0	18.1	12.1	2.3	1.5	0.7	0.1	0.1			
京都市域	実数	77,108	48,904	14,178	10,443	1,788	1,045	519	161	70			
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	構成比	100.0	63.4	18.4	13.5	2.3	1.4	0.7	0.2	0.1			
乙訓地域	実数	4,944	3,277	833	596	112	71	36	11	8			
	構成比	100.0	66.3	16.8	12.1	2.3	1.4	0.7	0.2	0.2			
山城中部地域	実数	14,982	9,000	2,851	2,202	480	266	141	28	14			
四州下司坦坝	構成比	100.0	60.1	19.0	14.7	3.2	1.8	0.9	0.2	0.1			
扣承抽械	実数	2,933	1,811	608	394	66	35	14	3	2			
相楽地域	構成比	100.0	61.7	20.7	13.4	2.3	1.2	0.5	0.1	0.1			

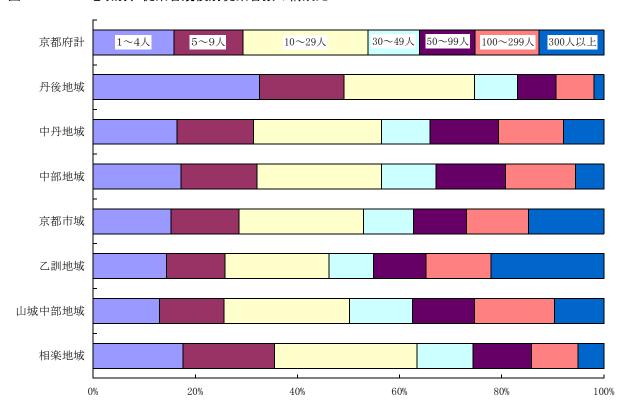


従業者規模別に従業者数の構成比をみると、「 $1\sim4$ 人」では丹後地域が最も高く、32.5%を占めています。各地域とも「 $10\sim29$ 人」が2割台と高く、「300人以上」の従業者数の割合が最も高い地域は乙訓地域(22.1%)となっています。 (表 29-2、図 25-2)

表29-2 地域別、従業者規模別従業者数

								(民営 単	位:人、%)
従業者規	模	従業者数 計	1~4人	5~9人	10~29人	30~49人	50~99人	100~299 人	300人以 上
京都府計	実数	1,077,816	170,608	146,225	263,180	108,152	117,279	134,622	137,750
宋和 <b>州</b> 司	構成比	100.0	15.8	13.6	24.4	10.0	10.9	12.5	12.8
丹後地域	実数	43,366	14,113	7,203	11,055	3,657	3,278	3,248	812
万後地域	構成比	100.0	32.5	16.6	25.5	8.4	7.6	7.5	1.9
中丹地域	実数	83,472	13,764	12,421	20,965	7,904	11,164	10,645	6,609
十月 地域	構成比	100.0	16.5	14.9	25.1	9.5	13.4	12.8	7.9
中部地域	実数	45,651	7,855	6,770	11,141	4,888	6,212	6,252	2,533
中部地域	構成比	100.0	17.2	14.8	24.4	10.7	13.6	13.7	5.5
京都市域	実数	689,074	105,075	91,869	168,247	67,024	71,407	83,476	101,976
<b>水和川</b> 城	構成比	100.0	15.2	13.3	24.4	9.7	10.4	12.1	14.8
乙訓地域	実数	47,325	6,796	5,395	9,642	4,172	4,822	6,042	10,456
乙訓地域	構成比	100.0	14.4	11.4	20.4	8.8	10.2	12.8	22.1
山城中部地域	実数	146,768	19,111	18,580	35,952	18,094	17,850	22,956	14,225
山州下市地域	構成比	100.0	13.0	12.7	24.5	12.3	12.2	15.6	9.7
和承州村	実数	22,160	3,894	3,987	6,178	2,413	2,546	2,003	1,139
相楽地域	構成比	100.0	17.6	18.0	27.9	10.9	11.5	9.0	5.1

図25-2 地域別、従業者規模別従業者数の構成比



### (6) 市区町村別の特徴

── 事業所数、従業者数とも減少市町村が増加市町村を上回る ──

#### ◇ 事業所数

事業所数を市区町村別にみると、京都市が7万8333事業所と最も多く、京都府全体の60.9%を占めています。京都市の中では中京区が1万1793事業所(9.2%)と最も多く、次いで伏見区が9729事業所(7.6%)、右京区が8310事業所(6.5%)、下京区が8050事業所(6.3%)となっています。京都市に次いで多いのは宇治市の6245事業所(4.9%)、京丹後市の5650事業所(4.4%)、舞鶴市の4527事業所(3.5%)となっています。

事業所数の増加率をみると、最も増加率が高いのは精華町で 20.2 % (147 事業所増)、次いで 笠置町 5.5 % (6 事業所増)、加茂町 4.0% (16 事業所増) となっています。

一方、最も減少率が高いのは和東町で 39.7 % ( $\triangle$  159 事業所)、次いで井手町が 19.7 % ( $\triangle$  103 事業所)、上京区が 19.5 % ( $\triangle$  1471 事業所) の減少となっています。

府内28市町村のうち増加しているのは5市町で、23市町村では減少しています。

(表30-1~~4~~~表31)

# ◇ 従業者数

従業者数を市区町村別にみると、京都市が 73 万 4400 人で最も多く、全体の 62.8 %を占めています。京都市の中では、下京区が 10 万 9636 人 (9.4 %) と最も多く、次いで中京区が 10 万 7076 人 (9.2 %)、伏見区が 9 万 9399 人 (8.5 %) となっています。京都市に次いで多いのは、宇治市の 6 万 2369 人 (5.3 %)、福知山市の 4 万 1593 人 (3.6 %)、舞鶴市の 3 万 8925 人 (3.3 %) となっています。

従業者数の増加率をみると、最も増加率が高いのは精華町で31.3% (2084 人増)、次いで木津町が12.3% (968 人増)、八幡市が8.2% (1632 人増)の増加となっています。

一方、最も減少率の高いのは南山城村で 38.3 % ( $\triangle$  464 人)、次いで和東町が 33.2 % ( $\triangle$  694 人)、与謝野町が 14.2 % ( $\triangle$  1662 人)の減少となっており、7市町で増加、2 1 市町村で減少しています。 (表 3 0 - 1  $\sim$  4 、表 3 1 )

#### ◇ 民営事業所の異動状況

民営事業所について、異動状況をみると、新設事業所数は京都市が1万 8012 事業所で最も多く、全体の64.8%を占め、次いで宇治市が1303事業所(4.7%)、舞鶴市が903事業所(3.2%)、福知山市が900事業所(3.2%)となっています。

一方、廃業事業所数は、京都市が2万4341事業所で最も多く、全体の64.2%を占め、次いで 宇治市が1939事業所(5.1%)、舞鶴市が1414事業所(3.7%)、京丹後市が1356事業所(3.6%) となっています。

新設率及び廃業率をみると、新設率は精華町が 57.0 %で最も高く、次いで木津町が 34.0 %、加茂町が 32.2 %となっています。一方、廃業率は和東町が 43.4 %で最も高く、次いで精華町が 34.1 %、東山区が 33.3 %となっています。 (表 3 3)

表30-1 事業所数の増加率が高い市区町村

(単位:事業所、%)

順位	市区町村名	増加率	平成18年	平成13年	増加数
1	精華町	20.2	874	727	147
2	笠 置 町	5.5	116	110	6
3	加茂町	4.0	418	402	16
4	京田辺 市	2.9	2,016	1,960	56
5	木 津 町	1.9	912	895	17

表30-2 事業所数の減少率が高い市区町村

(単位:事業所、%)

	(十四: 東本)//									
順位	市区町村名	減少率	平成18年	平成13年	減少数					
1	和 東 町	△ 39.7	242	401	△ 159					
2	井 手 町	$\triangle$ 19.7	419	522	△ 103					
3	上京区	$\triangle$ 19.5	6,072	7,543	△ 1,471					
4	南山城村	△ 18.3	116	142	$\triangle$ 26					
5	与謝野 町	$\triangle$ 15.4	2,331	2,754	△ 423					

表30-3 従業者数の増加率が高い市区町村

(単位:人、%)

順位	市区町村名	増加率	平成18年	平成13年	増加数
1	精華町	31.3	8,748	6,664	2,084
2	木 津 町	12.3	8,846	7,878	968
3	八幡市	8.2	21,509	19,877	1,632
4	南 丹 市	4.4	14,573	13,965	608
5	下 京 区	3.8	109,636	105,580	4,056

表30-4 従業者数の減少率が高い市区町村

(単位:人、%)

順位	市区町村名	減少率	平成18年	平成13年	減少数
1	南山城村	△ 38.3	749	1,213	△ 464
2	和 東 町	△ 33.2	1,395	2,089	△ 694
3	与謝野 町	△ 14.2	10,067	11,729	△ 1,662
4	宮 津 市	△ 13.9	9,789	11,371	△ 1,582
5	伊根町	△ 13.0	948	1,090	△ 142

図26 市区町村別事業所数及び従業者数の増減率

